

岡山醫學會第378回通常會

同會は豫期の通り 本月 18 日 午後 4 時より
岡山醫科大學第 1 講堂に於て開會せり緒方庶
務主幹開會を宣し直ちに次の講演を始む

1. 吸蟲類ノ卵殻形成ニ就テ

細菌學教室 村上 榮 君

余は肝蛭、肺吸蟲、「メタゴニムス」及び肝蟲の
4 種吸蟲を材料とし吸蟲類の卵殻形成に就て研究
せり。

遊離殻粒は一般に卵殻形成に參與する以前に融
合増大す、而して肝蛭、「メタゴニムス」及び肝吸
蟲に於ては稍々大なる種々の大きさを有する球形或
は類球形の殻粒を形成す。然れども其の大多數を
占むる大きさの範圍は各種吸蟲に於て夫々固有な
り。又肺吸蟲に於ては多數の殻粒が融合して其の
大多數のものが凡そ一定せる大きさの範圍にある不
整形丹板狀、或は不整形の卵殻質塊を形成す、
而して斯る事實が各種吸蟲卵子の厚さの夫々に異
なり、而も同種吸蟲卵子の其の凡そ一定せる所以
と解せらる。

卵子形成部は遊離殻粒が或大きさに融合増大する
ootyp 或は子宮基部なり。

吸蟲類の卵殻形成は其の尾極に始り、漸次に卵
蓋極に向つて進展す、而して之は 1 箇の卵黃細胞
を圍繞して卵殻を形成するを以て最初期となし、
之が形成起點となり、爾後卵黃細胞の追加と之を
圍繞して卵殻の側壁を形成し常に其の方向に開放
孔を存しつつ進展し卵黃細胞が各種吸蟲の夫々に
固有數に達する時期には既成卵殻の形成は卵子の
外觀に近く只卵蓋に相當する小開放孔を殘存せる
のみとなる。然る後該開放孔を閉鎖して卵殻を形
成し之が卵蓋を形成す。而して卵殻形成機轉の大

綱は以上の如くにして今回の研究資料とせる 4 種
吸蟲の何れも全く同様なり。然れども卵殻形成最
初期の形成状態及び卵細胞の參與する時期等に就
ては種類により幾分の差異を有するものあり。即
ち肝蛭、「メタゴニムス」及び肝吸蟲に於ては 1 箇
の卵黃細胞を圍繞して略ぼ圓筒狀に卵殻を形成す
るを原則となし、其の一開放極は肝蛭及び「メタ
ゴニムス」に於ては其の儘閉鎖するものありと雖
も大多數のものは稍々長く延長し卵殻突起を形成
し又は卵殻の外側に融着す。又肝吸蟲に於ては殆
ど總てのものが稍々延長し卵殻突起を形成し之は
前者と異なり突起として存在するもの多し。肺吸
蟲に於ては 1 箇の卵黃細胞を圍繞して一方にのみ
開放せる状態に卵殻を形成するを原則となす、従
つて之は卵殻突起を有せず。次に卵細胞の參與す
るは肝蛭及び肺吸蟲に於ては形成期卵子の種々な
る時期なりと雖も形成の後半或は末期近くに參與
するもの最も多く「メタゴニムス」及び肝吸蟲に於
ては形成末期に参加するものと思惟せらる。

追 加

山口 龍 契 君

圓蟲類就中「アスカリス」卵殻の形成は必ず交精
以後に行はるるものにして受精が行はれざれば卵
殻形成せられず、これ「アスカリス」卵の受精卵と
不交精との鑑別をなす重要點なり。

卵殻形成物質が整然たる露滴狀をなして分泌せ
られ、これが融合して卵殻を形成すと云ふ機轉は
「アスカリス」卵殻形成に就ても全く同様なり。但
しこの露滴狀物質の大きさが卵殻の厚さに比例すと
は極めて鋭利の御觀察と思考す。予は「アスカリ
ス」卵殻に就ては未だこの點十分に觀察せられず。

2. 珊瑚樹狀腎臓結石ニ就テ

皮膚科教室 三井義亮君

我教室に於て昭和6年より昭和10年に至る6箇年間に経験したる珊瑚樹狀結石の6例と、文獻上蒐集せる珊瑚樹狀結石症との27例を併せたる33例に就き、之が統計的觀察に就て述べ、合併症

と患腎機能、診斷と「ピエログラム」、病理解剖學的所見、結石の成分と成長速度並に治療に關して詳述せり。

右終りて午後5時40分閉會せり、當日の來會者は20餘名なり。

◎ 岡山醫學會第379回通常會

同會は本年4月22日午後4時より岡山醫科大學第1講堂に於て開會し次の講演ある豫定なり

日本流行性腦炎に就て (活動寫真供覽)

教授 柿沼昊作君